

全 建 アンケート

－ 中東情勢に伴う建設資材の需給に関する調査（8月期） －

令和 8 年9月8日

調査概要

【調査の目的】

中東情勢の影響等により、各種建設資材において価格改定や調達に対する懸念が継続して生じている状況を踏まえ、令和8年4月の調査に引き続き、現時点（8月）における最新の建設資材の調達状況等を把握することを目的として実施する。

【調査の内容】

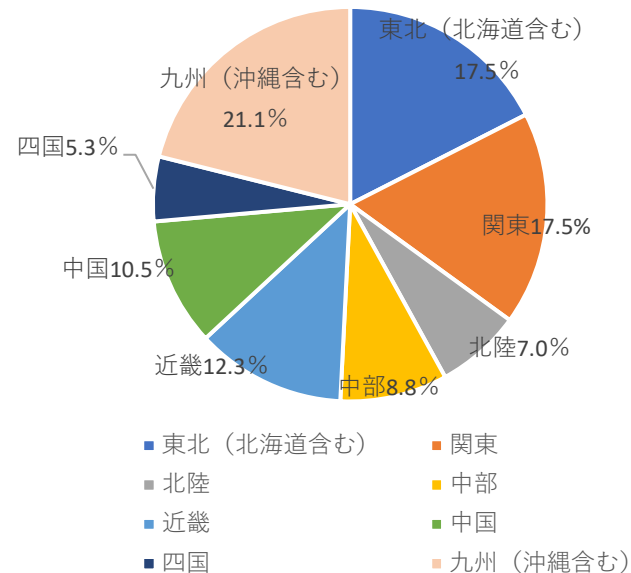
「全国建設業協会統一様式 おそれ情報通知書」に記載している主要な資機材に加え、今般の中東情勢の影響が大きいと考えられる資材を追加した計72種の建設資材について、現在生じている課題及び将来の見通し・要望事項を調査する。

【実施概要】

- ・ 調査期間 令和8年8月17日～24日
- ・ 調査対象 47都道府県協会の会員企業のうち、資本金5,000万円以上の企業1社及び資本金5,000万円未満の企業1社を各協会で選定し、47都道府県×2＝計94社を調査対象とした。回答企業数は57社。
※なお、各都道府県協会には原則2社の選定を依頼したが、協会ごとに回答企業数が異なり、一部では2社を超える回答があった一方、2社に満たない協会もあったことから、最終的な回答企業数は57社となった。
回答企業の内訳は以下のとおり（詳細は2ページの企業の属性を参照）
東北（北海道含む）10社、関東10社、北陸4社、中部5社、近畿7社、中国6社、四国3社、九州（沖縄含む）12社の計57社
- ・ 地域別（ブロック別）の分析については、各ブロックの回答企業数にばらつきがあり、適切な比較・評価が困難なことから、分析を実施しない。

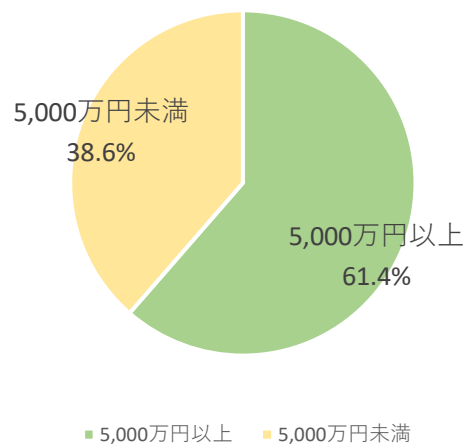
企業の属性

ブロック	都道府県	回答数	構成比
東北（北海道含む）	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	10	17.5%
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野	10	17.5%
北陸	新潟、富山、石川	4	7.0%
中部	岐阜、静岡、愛知、三重	5	8.8%
近畿	福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	7	12.3%
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	6	10.5%
四国	徳島、香川、愛媛、高知	3	5.3%
九州（沖縄含む）	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	12	21.1%
合計		57	100.0%



【資本金別】

資本金	回答数	構成比
5,000万円以上	35	61.4%
5,000万円未満	22	38.6%
計	57	100.0%

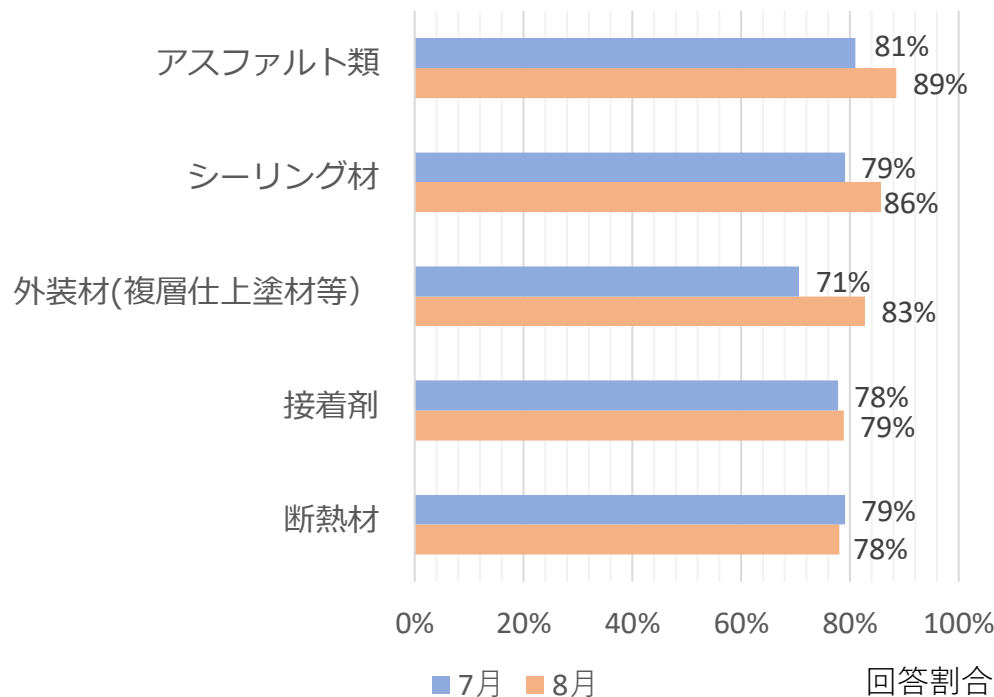


価格高騰が生じている建設資材

価格高騰については、アスファルト類、シーリング材、外装材（複層仕上塗材等）、接着剤、断熱材等を中心に、引き続き高い回答割合となっている。入荷遅延や供給不足・制限では改善傾向がみられる一方、資材価格は依然として高止まりしており、今後も複数の資材で価格改定が予定されるなど、価格面での影響は継続することが懸念される。

価格高騰が生じている主な建設資材TOP5位

（中東情勢の悪化前（2月）との比較）



（会員から寄せられた価格高騰に関する状況）

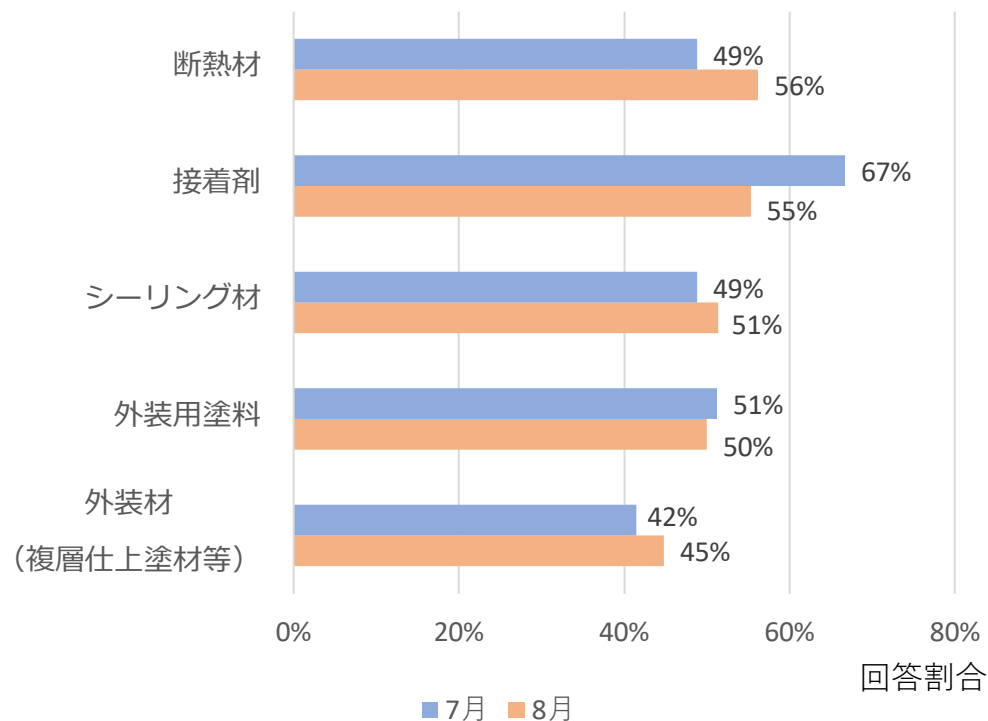
- 石油・石油化学系資材を中心に価格高騰が継続
 - ・ アスファルト関係：前年同期比40%程度上昇。
 - ・ 防水材料：昨年度より30%以上上昇。
 - ・ 塗料、断熱材、接着剤等についても高値で推移。
- 幅広い建設資材で価格上昇
 - ・ 建設資材全体で10～30%程度上昇。
 - ・ 鋼材、鉄筋、塩ビ系資材、内装材、住宅設備等にも価格上昇が波及。
 - ・ 一部では値上げが一旦落ち着いたとの回答もあるものの、価格は高止まり。

※ 上昇率は回答に記載された値を掲載

入荷の遅延が生じている建設資材

断熱材、接着剤、シーリング材、外装用塗料、外装材（複層仕上塗材等）において入荷遅延の回答が多く寄せられた。塗料・接着剤、塩ビ管・断熱材等について、引き続き影響がみられるものの、出荷制限の緩和や納期の改善を示す回答もみられる。

入荷遅延が生じている主な建設資材TOP5位



(会員から寄せられた入荷遅延に関する状況)

■断熱材・接着剤・塩ビ管等で引き続き納期遅延

- ・断熱材では、種類によって数週間程度の納期を要する状況。
- ・接着剤では、一部で出荷制限や1か月程度の納期を要する。
- ・塩ビ管では、納期確認が必要な状況や、入荷日が確定しないケースがみられる。

■塗料・防水材・シーリング材等でも影響が継続

- ・塗料、防水材、シーリング材等では、通常より入荷に時間を要する状況。
- ・一部では納期末定や分納となる資材もみられる。
- ・シーリング材の購入制限や防水材の納期について、徐々に改善しているとの回答もみられる。

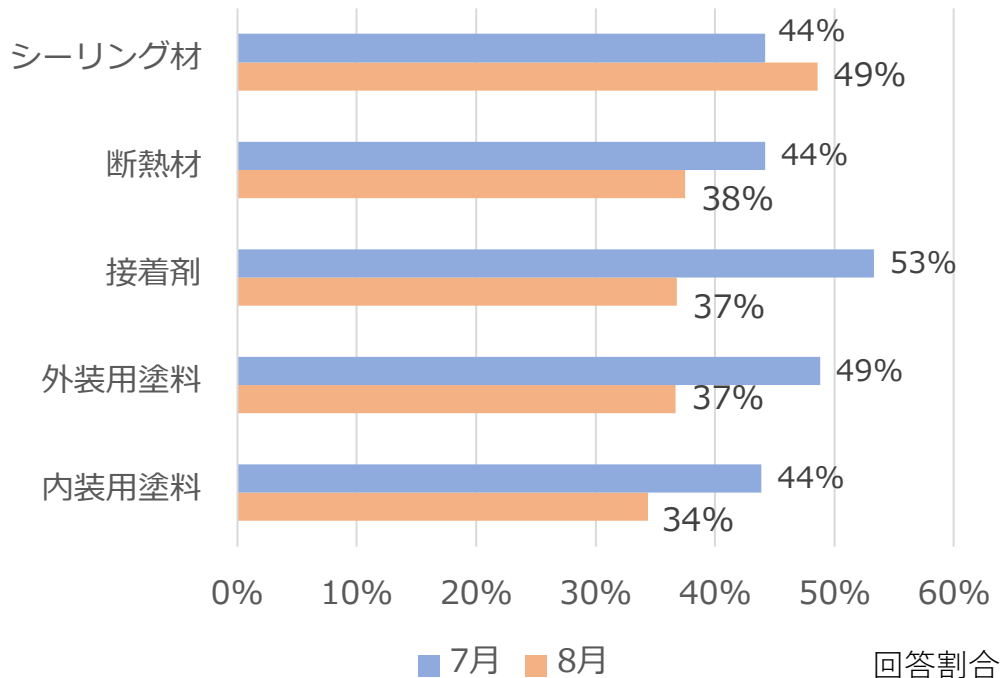
■電気設備等では長期の納期を要する資材も存在

- ・照明器具、高圧ケーブル、キュービクル等では、引き続き数か月単位の納期を要するケースがみられる。
- ・資材によっては工程への影響が継続している。

供給不足・制限が発生している建設資材

シーリング材、断熱材、接着剤、外装用塗料、内装用塗料等を中心に引き続き影響がみられるものの、7月と比較すると主要資材の多くで回答割合が低下している。必要数量の確保や出荷制限が続く資材もある一方、供給状況の改善を示す回答もみられ、全体として改善傾向がより明確となっている。

供給不足・制限が発生している建設資材TOP5位



(会員から寄せられた供給不足・制限に関する状況)

- シーリング材・接着剤・断熱材等で供給制限が継続
 - ・シーリング材では、メーカーによる出荷制限や数量調整が続いている。
 - ・接着剤では、一部メーカーで供給制限が解除されていない。
 - ・断熱材では、品種による受注停止や必要数量の確保が困難。
- 防水材・塗料・塩ビ管等でも一部影響が継続
 - ・防水材では、出荷数量制限や代替品で対応しているケースがみられる。
 - ・塗装材や塩ビ配管等についても、供給不足や数量制限が残っている。
 - ・必要数量の確保に時間を要し、資材によっては現場への影響が続いている。
- 一方、供給状況の改善を示す回答も増加
 - ・3～6月時点と比較して、供給不足・制限は改善している。
 - ・ウレタンフォーム断熱材、塩ビ管、接着剤等について、徐々に改善傾向がみられる。
 - ・資材をまったく入手できない状況は改善しつつある

会員による今後の見通し

■今後の価格高騰が懸念される建設資材

- ・価格については各メーカー6月頃の値上げから一旦落ち着いた感はあるが、工事期間の長い建設現場では依然予断を許さない。
- ・メーカー値上げに伴い鋼材単価の値上げ予定です。3月より上昇し続けている鉄筋相場ですが、今月に入り価格は一旦据置に移行してきた様に思います。
- ・セメントは2027年4月より3～5千円/t値上り予定です。
- ・衛生器具他2026年下半年以降10～15%の値上げ情報有。
- ・鋼管類今年初めに価格改定したが秋頃にも価格改定の案内が出ているので、今後も色々なメーカーで2度・3度の値上げが予想される。
- ・9月以降、空調機器の値上げが発表されているため、その影響が懸念される。

■今後の供給不足・制限が懸念される建設資材

- ・防水材（アスファルト防水材・乳材）、シーリング材、塗装材、断熱材、塩ビ配管などは、今後も供給不足・数量制限が続く可能性が高い。
- ・断熱材は未発注分の供給不安があり、塩ビ配管も上階分の納期未定が続く可能性が高い。
- ・メーカーからの納期は、これまでの1～2日程度から、1～2週間程度まで長期化しています。資材をまったく入手できない状況は改善しつつあるものの、以前のような即納体制には戻っていません。

■今後の入荷遅延が懸念される建設資材

- ・断熱材（屋根断熱材t=50）、塗装材、シーリング材、床材用接着剤、塩ビ配管、雑排水処理槽、電気盤・分電盤、航空障害灯などは、今後も納期遅延が続く可能性が高い。
- ・LED照明、分電盤等は当面現状が続く（遅延）
- ・2027年以降の大型建設物件（半導体工場・データセンター・物流施設等）の工事着工に伴い建設資材全般の需給バランスの崩れにより特にナフサを原料とする資材の入荷遅延の懸念有。

会員からの意見・要望等

(会員から寄せられた主な要望等)

■単品スライド・価格転嫁

- ・公共工事における単品スライド条項の柔軟な適用、代替え資材使用時の設計変更手続きの簡素化等
- ・スライド条項の1%枠や、残工事が基準日から2か月以上ある工事の対象の縛りは撤廃していただきたい。労務単価への反映に時差があり、その乖離解消が今後の大きな課題と考えます。
- ・積算価格の反映を早期に行っていただきたい。

■設計変更・代替資材対応

- ・各事務所、所管での対応を同一にしてほしい。また、代替え資材の可否判断は発注者サイドで判断してほしい。
- ・今回の中東情勢に起因するような価格変動は設計変更にて対応願いたい。発注金額の大きな議会承認案件でも柔軟な対応と手続きの簡素化を望む。

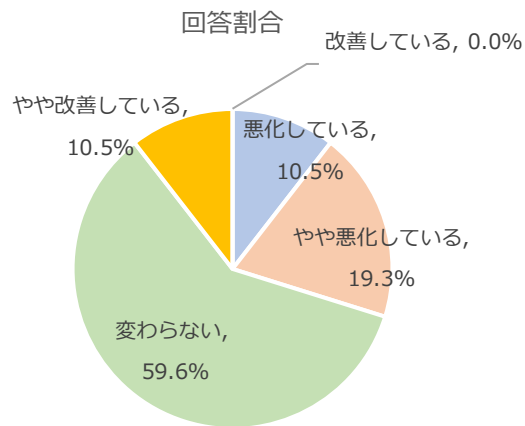
■その他

- ・見積有効期間が、長くて1箇月となっているため、受注した工事の価格スライドも、官民間わず、毎月実施出来る対応を行わないと、適正価格の維持に繋がっていかない。

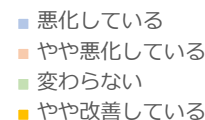
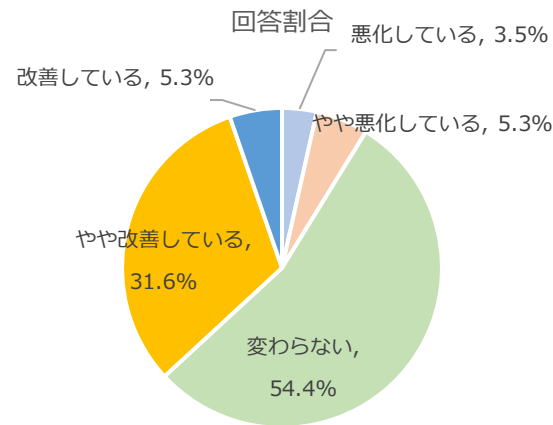
7月から8月の状況変化

- 価格の高騰は、「変わらない」が最多59.6%(前回：46.1%)であるものの、悪化の回答も合計で29.8%（前回：49.3%）と前月に比べ減少し、前回まで4.6%であった改善の回答が10.5%となり、引き続き改善傾向にある結果となった。
- 入荷の遅延は、「変わらない」が最多54.4%（前回：69.2%）であった。また、悪化の回答が8.8%（前回：12.3%）であった一方、改善の合計が36.9%（前回：18.5%）となり、引き続き改善が進んでいる結果となった。
- 供給不足・制限は、「変わらない」が最多56.1%（前回：69.2%）であった。また、悪化の回答が8.8%（前回：10.8%）であった一方、改善の合計が35.1%（前回：20.0%）となり、引き続き改善が進んでいる結果となった。

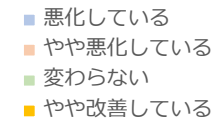
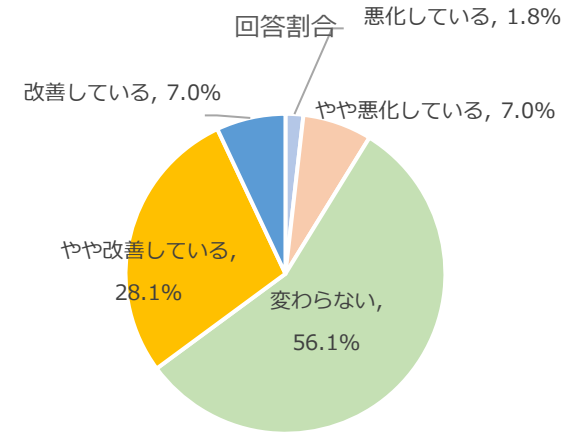
価格高騰の状況変化



入荷遅延の状況変化



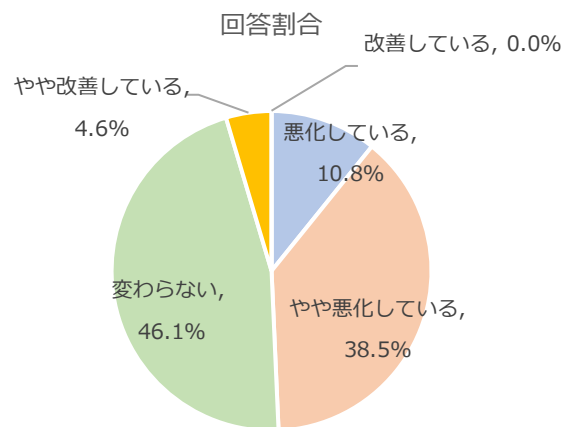
供給不足・制限の状況変化



(参考) 6月から7月の状況変化

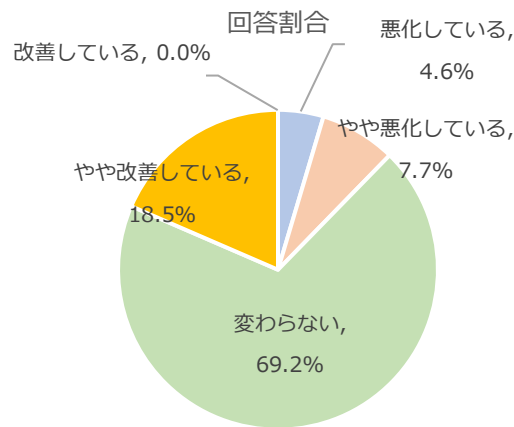
- 価格の高騰は、「変わらない」が最多46.1%(前回：31.2%)であるものの、悪化の回答も合計で49.3%(前回：68.8%)と引き続き高水準にある。一方で、前回まで0.0%であった改善の回答が4.6%となり、わずかながら初めて改善の回答が見られた。
- 入荷の遅延は、「変わらない」が最多69.2%(前回：53.8%)であった。また、悪化の回答が12.3%(前回：37.6%)であった一方、改善の合計が18.5%(前回：8.6%)となり、初めて改善の割合が悪化の割合を上回る結果となった。
- 供給不足・制限は、「変わらない」が最多69.2%(前回：54.9%)であった。また、悪化の回答が10.8%(前回：32.2%)であった一方、改善の合計が20.0%(前回：12.9%)となり、初めて改善の割合が悪化の割合を上回る結果となった。

価格高騰の状況変化



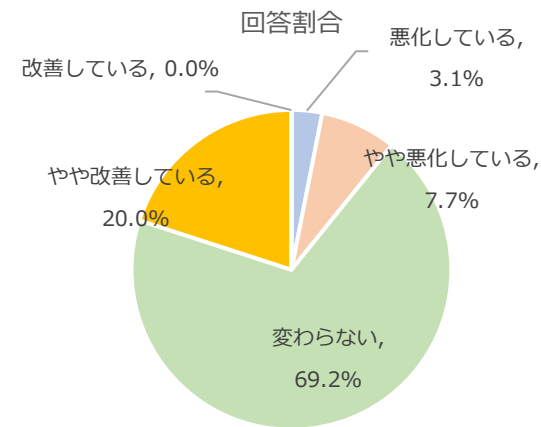
■ 悪化している
■ やや悪化している
■ 変わらない
■ やや改善している
■ 改善している

入荷遅延の状況変化



■ 悪化している
■ やや悪化している
■ 変わらない
■ やや改善している

供給不足・制限の状況変化



■ 悪化している
■ やや悪化している
■ 変わらない
■ やや改善している